

平成27年度3学期センターマネジメント										
学校教育目標	校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体現する生徒の育成									
重点努力目標	(1)生活のリズムや生活習慣を身につけさせ、学習規律や学習態度の確立、学習習慣を定着させることによって、基礎学力の向上をめざす。 (2)人間関係を育む学級経営、学習指導、学校行事、生徒会行事、部活動を通して、「学校が楽しくて満足している」と実感できる、共に生きる集団づくりをめざす。 (3)生徒一人ひとりが、価値ある存在として実感することができ、自分の生き方に夢や希望、誇りをもって、「社会とどう向き合い、社会とどう関わっていくか」を形成し、自己実現を図っていくことのできる学校									
分享重点目標	①本校が岩美町の「人づくり」「地域づくり」の一翼を担い、特に教育面、文化面においてセンター的な役割を果たす。 ②そのために、地域住民や地域機関との連携を強化しながら、地域住民の一員としての自覚が高まる生徒の育成を目指す。 ③岩美町が推進するスクラム教育の一翼を担う。									
目指す学校・生徒の姿 Plan	分担目標	2学期末と関係・項目	3学期の学習目標 Do	1 月	2 月	3 月	評価目標 (Check)	達成と評価 Do&Check	4学期～5学期 Action	
育し②し① 成・城 に芽・城 芽来町・美 め内に・の の夢外・市 教やの・立 師希人・時 のり分・に との・や 望的自・る 育を貢・に 償つ・を も涙を・自 たつ・達 持地・通 有つ城・償 生功城・し 生を徒・教 徒活徒・を 生の用・育 持・活 有・つ 城・地 生・勤 徒・城 の・を 用・企	徒愛面地 をし・城 育・美の 成郷親人 すす人材 るにを “誇こ活 りを用 とし 自達た 償し教 をて育 持・活 つ地勤 た城を 生を企	1年生 (成美)今までと違い、講師の方にお願いしたいで 講義をしてもらう形で実施。学年全員がじっくりと お話を聞くことができて、大変意義があった。 (課題)市内在住の講師の方の確保が難しい。学 校の予定と講師候補の方の休み等の日程調整 2年生 (成美)本校卒業生に本校にいてもいい。現在の高校 生活について生徒目線での話を聞くことができ た。1年生の進路決定に向けて、2年生には進路 的な学習になったと思われる。 (課題)進路指導の場を実施したのだが、平日 は高校生も授業があるので学校を休んでまで来 校してもらうのは難しい。 3年生 町教委の方では補充講師としての学生用の費用 が準備されており、学校だけではなく、町教委も協 力して人材確保にあっている。 本校卒業生だけではなく、進路大学の学生など、 進路実現につながるものとして進路の大学 にも協力を呼びかけている。	①職場体験学習に向け て(1年)	・「ふるさと先生」とともにC&Aを行い、学 年内で共有し、職業調べへ繋げる ・学年会で「職業調べ」の学習について核 討する。	・総合の時間に職業調べの学習 ・「職場体験」について学生で核討する。 ・「職業調べ」後に、進路希望調査の実施 ・受け入れ事業所の確定 ・事業所の希望調査	・体験先確定	地域人材の発掘 に努め、協力企業 への協力を要請し、 参加事業所の増 加をはかり、地 域の人材を活用 できる。	地域人材、地域企 業の協力を得るこ とができる。		
を者① 目・来 指地校 す域い 教のため 師方だ たく つかこ かこ に 信よ さつ れて る保 学校 校	遠意保 を護護 行の者 う高、 ・「橋地 に域 つの のな がな るの 教学 育校 活運 動委 の参 観画	3つの評価標準のいずれもクリアしてい る。 今年度は保護者のメンバーが積極的に 参加して下さり、見守りDAYの公開は毎 回10名以上の参加がある。 今年度は高齢者との交流で給食はなかつ た。その方が学校としての負担は少ない ので、今年度と同じような流れでいいと思 われる。	②修学旅行に向けて(2 年)	・H28年度東京・神奈川方面への修学旅行 に向けての企画・準備 ・訪問先を絞り、それに關する卒業生や本 町出身者等への連絡調整 ・実行委員会立ち上げ・役割分担	・修学旅行中の各訪問場所について、本 校卒業生や本町出身者等へ連絡・打ち合 わせ ・「藤田美奈さん、廣三さん夫妻の生き方 について学ぶ」学習との関連を図った講演 会・現地学習会の企画・準備 ・学年末PTAでの保護者への説明	・監・ス・テ・ノ・学・習・担・当・者・、本校卒業生や本 町出身者との打ち合わせ ・学年集会での実行委員会による企画説 明	・「PTA関係行事」 「若見見守りDAY」 「若見見守りDAY」 参加者数が平均1 0人以上 ・若見見守りDAY 参加者数が平均5 人以上	・若見見守りDAY 参加者数が平均1 0人以上		
すら画②生立① る期こ生徒人 教特と域・に 師さに行地 喜れよ事域 るつにれ るて積買・ 徒・極敵 を地的の 支域に役 援か参	にめ開治 把・と会 握地の・育 す域日公 変の常民 二一的館会 一な等・ ズ連間各 を携係地 的に諸区 確努機自	参加率は8割を超えている。								
			①町区別生徒会を活用 しての地域行事への積極 的参加の促進 ②地域と連携した校外行 事	①各地区公民館館長・主事会での要望・意見を元に、来年度につなげる。			・地域の行事やボ ランティア活動への 参画・生徒の参 加率・参画の向上	・28年度の各地区 の参画・参画の一 覧の作成		